

定住外国人増加への自治体対応策—

外国人の定住市民化—職・住・暮らしの支援

～急増する外国人の定住化と地域活性の人材、コミュニティ構成員としての多文化共生施策～

■外国人住民の活躍推進方策、地域の共通言語「やさしい日本語」の活用と地域住民との交流促進

□外国人の住宅対策—新宿区多文化共生まちづくり会議「住宅部会」の成果と支援施策・課題

■〔佐賀県〕相談・支援組織「さが多文化共生センター」新設による生活支援施策の充実・強化

□〔浜松市〕90年入管法改正から多文化共生都市ビジョンへ—その成果と総合的対応策への取組み

2020年2月3日（月） 10:00～16:55 剛堂会館・会議室（東京・千代田区）

【講師陣】毛受 敏浩 氏 / (公財)日本国際交流センター執行理事
庵 功雄 氏 / 一橋大学森有礼高等教育国際流動化機構
国際教育交流センター教授

稲葉 佳子 氏 / 法政大学大学院デザイン工学研究科兼任講師
NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター理事

矢富 明德 氏 / (公財)佐賀県国際交流協会企画交流課長

佐藤 宏明 氏 / 浜松市企画調整部国際課長

※講演順は裏面をご覧ください。

【参加要領】

■会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
(案内図は申込後送付)

■参加費（1名分）

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	25,000円
一般	35,000円	35,000円

※メディアCDには、毛受敏浩氏(日本国際交流センター)のご講演は収録されません。

※メディア参加申込みの方へは、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)と資料及び請求書をお送りいたします。

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込みされた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい。 (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10
ライオンズ平河町101
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0093
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp

年 月 日

■研修会『外国人の定住市民化—職・住・暮らしの支援』への参加

☐当日参加

☐メディア参加

勤務先

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛名：

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:10	外国人への住まいの確保、その支援と課題 ～新宿区多文化共生まちづくり会議「住宅部会」の議論も交えて～ 法政大学大学院デザイン工学研究科兼任講師 NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター理事 稲葉 佳子 氏 1. 外国人はどんな住宅に住んでいるのか 2. 「住宅部会(新宿区)」で明らかになった 3. 「入居差別」と「入居敬遠」の違い 4. 住まい確保のための支援策 5. 現状から想定される今後の課題 日本語学校生の住宅問題 【質疑応答】
	〔稲葉 佳子(いなばよしこ)氏プロフィール〕法政大学大学院デザイン工学研究科兼任講師、博士(工学)。都市計画コンサルタントを経て、2008年よりNPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター理事。新宿区の多文化共生関連の調査・研究・施策検討にも関わる。研究分野は、外国人居住、都市研究。著書に『オオクボ 都市の力-多文化空間のダイナミズム』他多数。
11:20 ～ 12:30	〔佐賀県〕外国人住民の相談・支援体制の充実・強化 ～さが多文化共生センター(新設)による生活の支援施策～ (公財) 佐賀県国際交流協会企画交流課長 矢富 明德 氏 1. 佐賀県における外国人住民の状況 2. 相談・支援体制づくりの経緯 3. 「さが多文化共生センター」の体制・活動 ①センターの体制(人員・連携団体等) ②センターの活動内容 4. これからの「佐賀」に向けて 【質疑応答】
13:15 ～ 14:15	地域活力づくりのカギを握る外国人との多文化共生施策 ～深まる外国人依存、定住市民としての可能性をどう生かすか～ (公財) 日本国際交流センター執行理事 毛受 敏浩 氏 1. 人口減少の加速化と外国人の急増 2. 従来の外国人受入れ政策の課題 3. 多文化共生から外国人住民増加政策へ 4. 外国人住民の活躍推進のために 【質疑応答】
	〔毛受 敏浩(めんじゅとしひろ)氏プロフィール〕慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学行政管理大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究、NGO、フィランソロビー活動など多様な事業に携わる。2012年より現職。慶応大学等で非常勤講師を歴任。現在、総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、新宿区多文化共生まちづくり会議座長、未来を創る財団理事等を務める。著書に『自治体がひらく日本の移民政策―人口減少時代の多文化共生への挑戦』、『限界国家』他多数。
14:25 ～ 15:35	地域の共通言語としての「やさしい日本語」 ～地域住民との交流を促進するために～ 一橋大学森有礼高等教育国際流動化機構 国際教育交流センター教授 庵 功雄 氏 1. 多文化共生とことばの問題 2. 「やさしい日本語」 3. 地域社会の共通言語 4. 社会的コストの低減 5. 日本語母語話者にとってのインセンティブ 【質疑応答】
	〔庵 功雄(いおりいさお)氏プロフィール〕専門は、日本語教育、言語学、日本語学。大阪大学文学研究科現代日本語学講座修了後、一橋大学留学センター講師、一橋大学国際教育センター准教授等を経て、2018年より現職。著書に『やさしい日本語―多文化共生社会へ』、『日本語指示表現の文脈指示用法の研究』他多数。
15:45 ～ 16:55	浜松市の多文化共生への取り組み ～1990年入管法改正から浜松市多文化共生都市ビジョンへ、その成果と課題～ 浜松市企画調整部国際課長 佐藤 宏明 氏 1. 浜松市1990年のインパクト 2. 浜松市のビジョン 3. 浜松市の国際化施策 - 多文化共生の取り組み 4. 外国人集住都市会議 5. 多文化共生 - 国の総合的対応策 【質疑応答】